



【巻物の中での役割】

死の陰の谷を歩むとも、魂は生き返る 23篇

死に対する勝利

【鍵語、対語】四分割のこぼ

よみ、穴、墓

【旧約の連想：ストーリー、契約、十戒・・・】

■対義語が多い

怒り・恩寵、涙・喜び、歎き・踊り、荒布__喜び

■さばきは速やかに来る（一瞬で大逆転）

Deu 32:35 彼らの足がすべるとき、わたしはあだを返し、報いをするであろう。彼らの災の日は近く、彼らの破滅は、すみやかに来るであろう。

Hab 2:3 この幻はなお定められたときを待ち、終りをさして急いでいる。それは偽りではない。もしおそければ待っておれ。それは必ず臨む。滞りはしない。

Hbr 10:37 「もうしばらくすれば、きたるべきかたがお見えになる。遅くなることはない。

Rev 22:20 これらのことをあかしするかたが仰せになる、「しかり、わたしはすぐに来る」。

■罪と死から自由にするのがヨベルの年、自由の年

Lke 4:16 それからお育ちになったナザレに行き、安息日いつものように会堂にはいり、聖書を朗読しようとして立たれた。Lke 4:17 すると預言者イザヤの書が手渡されたので、その書を開いて、こう書いてある所を出された、Lke 4:18 「主の御霊がわたしに宿っている。貧しい人々に福音を宣べ伝えさせるために、わたしを聖別してくださったからである。主はわたしをつかわして、囚人が解放され、盲人の目が開かれることを告げ知らせ、打ちひしがれている者に自由を得させ、Lke 4:19 主のめぐみの年を告げ知らせるのである」。Rom 8:2 なぜなら、キリスト・イエスにあるいのちの御霊の法則は、罪と死との法則からあなたを解放したからである。Rom 8:21 かつ、被造物自身にも、滅びのなわめから解放されて、神の子たちの栄光の自由に入る望みが残されているからである。

■最後の敵である死

1Co 15:24 それから終末となって、その時に、キリストはすべての君たち、すべての権威と権力を打ち滅ぼして、国を父なる神に渡されるのである。

1Co 15:25 なぜなら、キリストはあらゆる敵をその足もとに置く時までは、支配を続けることになっているからである。

1Co 15:26 最後の敵として滅ぼされるのが、死である。

Rev 20:14 それから、死も黄泉も火の池に投げ込まれた。この火の池が第二の死である。